

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年 8月13日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	コントロール建屋電気品室冷凍機(B)「潤滑油圧力低」自動停止後の再起動操作において、「圧縮機起動渋滞」警報が発生し当該冷凍機の起動ができなかったため、原因調査・対策検討。 なお、8月12日に原因調査のため当該冷凍機を再起動したところ、再起動に成功し事象は再発しなかったため、当該冷凍機は運転を継続。	GⅢ	8月11日
2	3号機	中央制御室冷凍機(B)「潤滑油温度高」自動停止後の再起動操作において、「起動渋滞」警報が発生し当該冷凍機の起動ができなかったため、原因調査・対策検討。 なお、サーキュレーターにより4号機中央制御室の冷風を3号機の中央制御室と計算機室へ送風し温度上昇を防止。	GⅢ	8月10日
3	4号機	非常用ディーゼル発電設備(A)非常用電気品室給気ダクト防火ダンパー(No.7)において、4つのダンパーの内3つが「閉」位置であることが認められたため、当該防火ダンパーを点検・修理。 なお、現在3つのダンパーをロープにて「開」位置に固定し、非常用電気品室への給気を行っており、給気に影響はない。また、当該エリアで火災が起きた時は、固定しているロープが燃えダンパーが「閉」位置となることから、防火ダンパーの機能に影響はない。	GⅢ	8月10日
4	3・4号廃棄物処理設備	高電導度廃液系貯留水ポンプ(B)潤滑油ポット(注油器)に亀裂が認められたため、当該潤滑油ポットを点検・修理。 なお、応急処置として停止中の高電導度廃液系貯留水ポンプ(A)の潤滑油ポット(注油器)と交換し、高電導度廃液系貯留水ポンプ(B)の運転を継続。	GⅢ	8月11日
5	その他	資材の譲受契約検収手続きにおいて、契約部門への検収書類の未提出、かつ協力企業への支払い遅延が発生したことから、原因調査・対策検討。	GⅢ	8月11日